名前

10分　／

6 ことわざ・慣用句

1 次の（　）にあてはまる生き物の名前をあとの［　］から一つずつ選んで書き、ことわざを完成させましょう（言葉は一度ずつしか使えません）。

(1) （　　）も歩けばぼうに当たる。
〈意味〉何かをしようとすれば、思いがけないさいなんにあうこと、または、何かをやっていると思いがけない幸運にあうことのたとえ。

(2) （　　）も木から落ちる。
〈意味〉どんな名人でも時には失敗することがあるということのたとえ。

(3) （　　）の耳に念仏。
〈意味〉いくら言ってもききめがないことのたとえ。

(4) （　　）の手も借りたい。
〈意味〉ひじょうにいそがしくて、どんな手伝いでもほしいことのたとえ。

(5) 泣きっつらに（　　）。
〈意味〉悪いことの上に、さらに悪いことが重なることのたとえ。

［　はち　さる　ねこ　犬　馬　］

2 次の（　）にあてはまる体の部分の名前をあとの［　］から一つずつ選んで書き、慣用句を完成させましょう（言葉は一度ずつしか使えません）。

(1) （　　）を打つ。
〈意味〉心に強く感じる。

(2) （　　）をぬかす。
〈意味〉ひどくおどろく。

(3) （　　）に（　　）はかえられない。
〈意味〉大切なことのためには、ほかをがまんするのはしかたがない。

［　むね　はら　こし　せ　］

3 次の□にあてはまる慣用句をあとのア～ウから一つずつ選び、（　）に記号を書きましょう。

(1) 仲直りをしてこれまでのことは□。（　　）

(2) 発表の前に原こうにもう一度□。（　　）

(3) 妹はまだ小さいので、何をするにも□。（　　）

ア　目を通す　　イ　水に流す　　ウ　手がかかる

国語

1学期のまとめも読書感想文も
Z会×ちびむすドリル
夏休みドリル 1 2 3 4 5 6